2011年4月

ヴァーレンベルギア ウンドゥラタ種

(*Wahlenbergia undulata* (L.f.) A.DC.)

ヴァーレンベルギア　ウンドゥラタ種審査基準

Ⅰ．審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準はキキョウ科（*Campanulaceae*）のヴアーレンベルギア属(*Wahlenbergia* Schrad. ex Roth,nom.cons.)のウンドゥラタ種（*W.undulata(L.f.)*A.DC.）の全ての品種に適用する。

Ⅱ．提出種苗(Material Required)

ⅰ）種苗の形態　発根苗又は種子

ⅱ）提出時期　　審査当局が指定する時期

ⅲ）数量　　栄養繁殖性品種の場合　30 個体
　　種子繁殖性品種の場合　1,000 粒

ⅳ）提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。

ⅴ）提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

Ⅲ．試験の実施(Conduct of Tests)

ⅰ）栽培条件　　特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。

ⅱ）最低供試個体数　　栄養繁殖性品種　20 個体
　　種子繁殖性品種　40 個体

ⅲ）栽培期間　　1 生育周期

ⅳ）調査方法　　調査個体数は、特に指示がない限り、栄養繁殖性品種の場合は植物体 10 個体又は各個体から採取した部分 10 個、種子繁殖性品種の場合は植物体 20 個体又は各個体から採取した部分 20 個とする。均一性は供試した全ての個体で判定する。

調査時期は、特に指示がない限り開花期に行う。開花期とは、株の第 1 花が完全に開花した時期とする。葉の形質は、最長茎の中間部（茎の基部から止葉までの長さの 1/2 付近）の葉で調査する。花の形質は、花冠が十分に展開した花で調査する。

ⅴ）特別な試験　　特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が申告し、方法等が十分に提示され、審査当局が合意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

Ⅳ．判定基準（Standards for decisions）

判定は、登録出願品種審査基準審査要領の区別性、均一性及び安定生（DUS）審査のための一般基準に基づくものとする。

栄養繁殖性品種においては、供試個体数が 20 の場合、許容される異型個体数は 1 である。

Ⅴ．グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

ⅰ）草姿（形質 1）

ⅱ）花型（形質 16）
ⅲ）花冠の形（形質 17）
ⅳ）花冠の長さ（形質 23）
ⅴ) 花冠の直径（形質24）
ⅵ）花冠内面の主な色（形質25）
以下の色区分による。
Gr.1:白
Gr2:紫
ⅶ）花冠外面の主な色（形質26）
ⅷ）花冠の脈の有無（形質28）
ⅸ）花冠の脈の色（脈のある品種に限る。）（形質29）

Ⅵ. 特性表で使用する記号の説明(Legend)
G ：グループ分けに使用する形質
QL：質的形質
QN：量的形質
PQ：擬似の質的形質
(+)：Ⅷ. に特性表の説明図等を示す

網掛け：種苗法施行規則第５条で定める願書（別紙様式第１号）に出願者が記載する特性及び階級値

VI. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		PQ (+) G	草姿	Plant: growth habit	株全体の草姿	観察	1 2 3	直立 半直立 ほふく	erect semi-erect prostrate		
2		QN	草丈	Plant : height	株の地際から最頂部までの高さ	測定 cm	3 5 7	低 中 高	short medium tall		
3		QN	株の幅	Plant: width	株幅	測定 cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
4		QN	着らい分枝数	Plant: number of shoots with flower bud	1 株の着らい分枝数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many		
5		QL	茎の毛の有無	Stem: pubescence	茎の毛の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
6		QL	葉序	Leaf: arrangement	葉の着き方	観察	1 2	互生 対生	alternate opposite		
7		PQ (+)	葉の向き	Leaf: attitude	最長茎の中間部（基部から止葉までの長さの 1/2 の位置）の葉の着生角度	観察	1 2 3	斜上 やや斜上 水平	upward slightly upward flat		
8		PQ (+)	葉の形	Leaf: shape	最長茎中間部の葉全体の形	観察	1 2 3	長楕円形 被針形 倒被針形	narrowelliptic lanceolate oblanceolate		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
9		PQ (+)	葉の先端の形	Leaf: shape of apex	最長茎中間部の葉の先端の形	観察	1 2 3 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded		
10		QN	葉の長さ	Leaf: length	最長茎の中間部の葉の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		
11		QN	葉の幅	Leaf: width	最長茎の中間部の葉の幅	測定 mm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad		
12		QL	葉の鋸歯の有無	Leaf :serration	最長茎の中間部の葉の鋸歯の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
13		QN (+)	葉の鋸歯の粗密	Leaf :density of serration	最長茎の中間部の葉の鋸歯の粗密の程度	観察	3 5 7	粗 中 密	sparse medium dense		
14		QL	葉の斑の有無	Leaf :variegation	葉の斑の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
15		QL	葉の毛の有無	Leaf :pubescence	葉の毛の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
16		QL G	花型	Corolla: type	一重・八重の別	観察	1 2	一重 八重	single double		

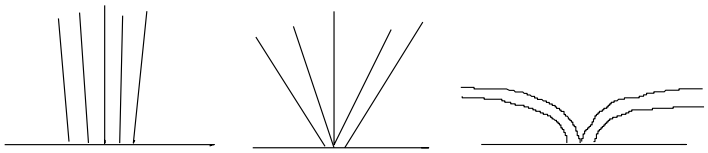
形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
17		PQ (+) G	花冠の形	Corolla: shape	花冠全体の形	観察	1 2 3 4	ロート形 狭鐘形 鐘形 広鐘形	funnel-shaped narrow campanulate campanulate wide campanulate		
18		QN (+)	花冠の切れ込み	Corolla: lobing	花冠列片の切れ込みの深さ	観察	1 3 5 7 9	極浅 浅 中 深 極深	very shallow shallow medium deep very deep		
19		PQ (+)	花冠裂片の先端の形	Corolla: shape of the apex of lobes	花冠裂片の先端の形	観察	1 2 4	鋭尖形 鋭形 鈍形 円形	acuminate acute obtuse rounded	、	
20		QL	花冠裂片の反りの有無	Corolla: reflexing of lobes	花冠裂片の反りの有無	観察	1 9	無 有	absent present		
21		QN (+)	花冠裂片の反りの強弱	Corolla: degree of reflexing of lobes	花冠裂片の反りの程度	観察	3 5 7	弱 中 強	weak medium strong		
22		QN	花冠裂片数（八重品種に限る。）	Only varieties with double corolla: Corolla:number of lobes	満開時における展開した花冠裂片の数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many		
23		QN (+) G	花冠の長さ	Corolla: length	花冠の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
24		QN (+) G	花冠の直径	Corolla: diameter	花冠の最大直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large		
25		PQ G	花冠内面の主な色	Corolla: main color of inner surface	花冠内面の主な色	測定		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart（indicate reference number）		
26		PQ G	花冠外面の主な色	Corolla: main color of outer surface	花冠外面の主な色	測定		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart（indicate reference number）		
27		QL	花色の移行性の有無	Corolla:change of coloration	開花初期と開花終期との花色の変化の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
28		QL G	花冠の脈の有無	Corolla:presence of conspicuous veins	花冠内面の主な色と脈の色との差異の有無	観察	1 9	無 有	absent present		
29		PQ G	花冠の脈の色（脈のある品種に限る。）	Only varieties with conspicuous veins of Corolla:corolla:color of veins	花冠内面の脈の色	測定		RHS ｶﾗｰﾁｬｰﾄ色票番号による	RHS Colour Chart（indicate reference number）		
30		QN	花柄の長さ	Pedicel: length	花柄の長さ	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long		

形質番号	UPOV	記号	形　質 (Characteristics)		定　義	調査方法	階級	状　態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備　考
			（日本語）	（English）				(日本語)	（English）		
31		QN	花の数	Inflorescence:number of flowers	最長の茎に着生した花の数	測定	3 5 7	少 中 多	few medium many		
32		QN	開花時期	Flowering time	開花の早晩	観察	3 5 7	早 中 晩	eariy medium late		

Ⅶ. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質１　草姿　Char.1　Plant: growth habit

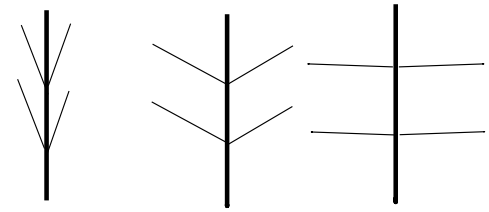


1
直立
erect

2
半直立
semi-erect

3
ほふく
prostrate

形質７　葉の向き　Char.7　Leaf: attitude



1
斜上
upward

2
やや斜上
semi-upward

3
水平
flat

形質８　葉の形　Char.8　Leaf: shape

1
長楕円形
narrow elliptic

2
披針形
lanceolate

3
倒披針形
oblanceolate

形質 9　葉の先端の形　Char.9　Leaf: shape of apex

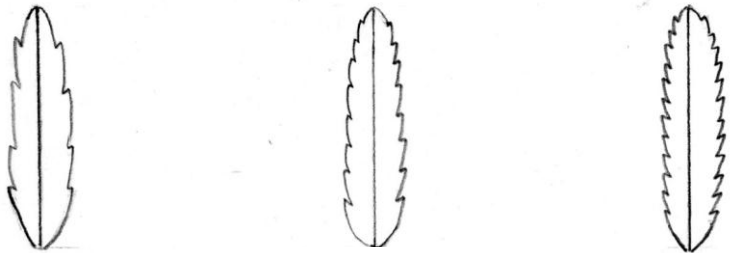
1
鋭尖形
acuminate

2
鋭形
acute

3
鈍形
obtuse

4
円形
rounded

形質 13　葉の鋸歯の粗密　Char.13　Leaf :density of serration



3
粗
sparse

5
中
medium

7
密
dense

形質 16　花冠の形　Char.16　Corolla: shape

1
ロート形
funnel-shaped

2
狭鐘形
narrow campanulate

3
鐘形
campanulate

4
広鐘形
wide campanulate

形質 18　花冠の切れ込み　Char.18　Corolla: lobing

3
浅
shallow

5
中
medium

7
深
deep

形質 19　花冠裂片の先端の形　Char.19　Corolla: shape of the apex of lobes

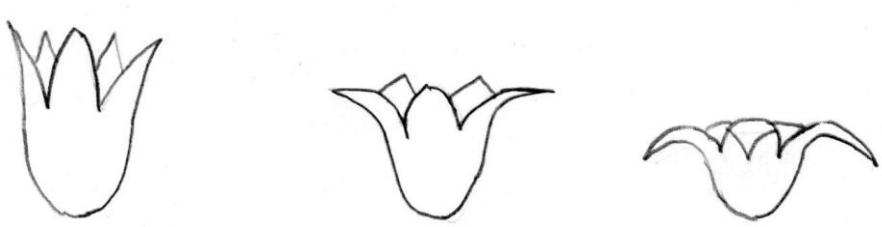
1
鋭尖形
acuminate

2
鋭形
acute

3
鈍形
obtuse

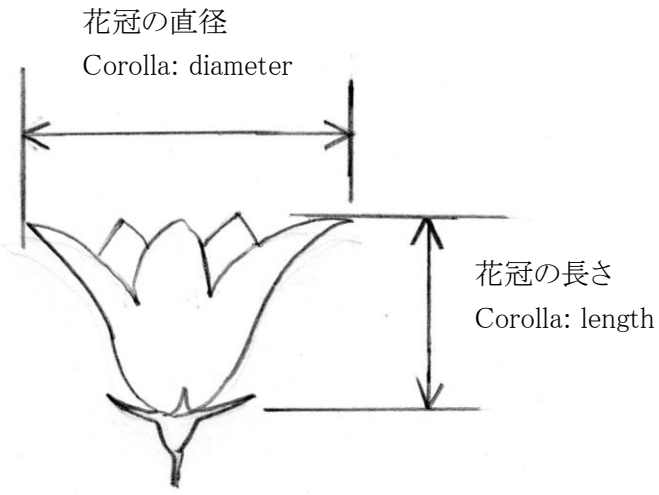
4
円形
rounded

形質 21　花冠裂片の反りの強弱　Char.21　Corolla: degree of reflexing of lobes



3
弱
weak

5
中
medium

7
強
strong

形質 21　花冠の長さ　Char.21　Corolla: length
形質 22　花冠の直径　Char.22　Corolla: diameter